

安全でおいしい水をのむために

水は、わたしたちの生活には欠かせないものです。しかし、その大切な水に注意をはらっている家庭というのは、意外と少ないのではないのでしょうか。

みなさんのほんの少しのくふうと注意が、安全でおいしい水をのむために大切なことなのです。



安全な水をのむために

水道水は、配水管から家庭に直接水をおくる場合と、一度受水槽に水をためてから、各家庭に水をおくる場合があります。受水槽はおもにビル、マンションなどで使われています。この水の通り道を清潔に保つことが、安全な水を飲むために大切なことです。

●断水直後の水は飲料用にならない

断水すると、配水管の水圧が低下して、管内の水が汚染される可能性があります。断水直後の水は絶対に使わず、掃除に使うようにしましょう。



住まいの チェック

水の道はきれいに していますか？

受水槽から配管、蛇口までの、水道水の流れの間に、汚染の原因となるものがないかをチェックしてみましょう。



- 透明なコップに水を入れ、色やにおいを確かめていますか？
- 浄水器のカートリッジは定期的に交換していますか？

おいしい水を飲むために ~浄水器の正しい使い方~

最近では、浄水器を使用する家庭もふえてきているようです。しかし、浄水器も正しく使わなければ、逆に水の安全性をそこなうことになりかねません。

●浄水器のカートリッジは定期的に交換する

浄水器のカートリッジは定期的に（説明書に従って）交換しましょう。そのままにしておくと、フィルターがめづまりをおこしたり、細菌や藻の住みかとなってしまいます。



●浄水器にはお湯を通さない

浄水器に熱湯を通すと、活性炭に吸着した物質が溶けだしたり、ろ過用の膜が傷んだりしてろ過機能をさまたけてしまいます。

●浄水器を使った水は、なるべく早く飲む

浄水器は、水道水の消毒に使われている残留塩素を取り除いてしまうので、水に殺菌力がなくなります。そのため、浄水器を通した水は早めに使うことが大切です。

飲料用には浄水器を通し、洗い物のときは水道水をそのまま使うなど、うまく切り替えるようにしましょう。



知っていますか？ この数字

「0.4mg/ℓ以下」

一般的に「おいしい水」といわれる水の残留塩素のめやすです。おいしい水の条件には残留塩素以外にも、硬度（炭酸マグネシウムの量）、におい、炭酸ガスの量などが関係しています。

1 point advice

朝一番の水は飲まない

浄水器のなかに残っている水に細菌が繁殖してしまうことがありますので、朝一番の水は使わないようにしましょう。